

飛翔OB会

同窓会 会報

令和7年3月3日
第32号



「必要とされる人へ ー学び、挑戦し、支え合うー」

同窓会会長 岩 淵 義 昭

第45回

青森県高等学校総合文化祭 美術部門にて

「最優秀賞」受賞



令和七年、本校は開校五十周年の大きな節目を迎えます。この長い歴史の中で多くの卒業生が巣立ち、社会で活躍しています。そして今春、新たに二〇三名の卒業生の皆さんが母校を旅立とうとしています。

かつて特攻隊の青年が後輩へ遺した「人間は死んでも、名前は残る」という言葉があります。牛馬を一頭、鳥を一羽、魚を一尾というように、生き物の数え方は死んだ後残るものに基づくのだと彼は説きます。人間が亡くなった時は「一名」と表現します。生きた証として残される自分の「名」に恥じない生き方をしてほしいと語り、青年は戦地へ赴いたそうです。

す。人はいつかこの世を去りますが、その生き方や行いは人々の記憶に刻まれ、語り継がれていきます。二高の校歌の歌詞にも、「我が名刻まん」という歌詞があります。皆さんも誓った志を胸に、世の中によりよい働きをしていくことで、その名を輝かせることができるはずです。

また、どんなことにも楽しんで挑戦する精神を磨いてください。在学中に培った知識や重ねた努力は、誰にも奪われることのない一生の財産です。しかし、知識や努力だけで豊かな人生と言えるでしょうか。人は支え合うことで、正解のない課題に立ち向かう大きな力を生み出します。どんな環境にあっても楽しみながら学び続けるとともに、助け合う心を忘れず、共に高め合える人間関係を大切にしてください。信頼され、必要とされてこそ、人の役に立つことができるのはないでしょうか。立派な大人へと成長し、豊かな人生を歩まれることを願っています。同窓会は母校と卒業生一人ひとりをつなぐ

二高カード発行して4年目を迎え、活用している会員が増えております。昨年は、城下で画材・額縁等を取り扱う、粋彩画堂が協賛店に加わり、現在11社18店舗です。この事業は、創立50周年記念事業として取り組んでいる事業です。これは、本校同窓生が二高カードを提示した際、

より感謝申し上げます。卒業生の皆さんの未来が希望に満ちたものとなることをお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

第45回青森県高等学校総合文化祭美術部門において、美術コース2年の竹ヶ原圭太さんの作品が最優秀賞に選ばれた。作品の題名は「花束」で、祖母をモデルに、2か月間で描き上げた。審査員は、「画面の中にどこも逃げていくところがない」「時間をかけただけのエネルギーが見た人に伝わるのがいい」と画力を評価した。美術部門では、美術コース2年生の大久保龍真さんが優良賞に選ばれ、2つの作品が全国大会に出品される。

【竹ヶ原さんのコメント】私は自分の作品に自信が持てませんでした。ですが、この作品は、花束を魅力的に見せる事を意識して制作しました。花を美しく見せるだけではなく、散乱した花達がこちらを見つめているような、妙な違和感や不思議な雰囲気を出そうとしました。そ

れを見る人に明確に伝えるために私なりに努力しました。しかし制作の途中で絵の印象を身近な人々に聞くと、自分のイメージと違った捉え方をしていることが多く、相手に伝える事の難しさを強く実感しました。リアルに描くだけでは伝わらないもどかしさと戦いながら制作しました。最優秀賞という結果を聞き、大きな達成感がありました。しかしまだまだ満足いく作品ではありません。この経験を今後に活かし、過去の自分を乗り越えるために、更に気持ちを入れて作品制作に臨みます。

二高カード協賛店 募集中

協賛企業様には物品購入や飲食等の利用額からポイント値引きをお願いするものであります。本校卒業生に限らず、幅広い企業の皆様に二高カード協賛を募集しておりますので、ご賛同のほどよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

携帯090-2023-7639
相談役住吉まで

創立五十周年記念事業協賛会 発足

10月4日(土) 記念式典・祝賀会 開催

令和6年6月24日(月) 18時より母校会議室において、後援会、同窓会、PTA、PTA・OB会、教職員代表で、創立五十周年記念事業協賛会が設立されました。主な事業として、学校図書室の改修、芸能鑑賞会への協力、記念美術展の開催、教育活動対策事業、記念誌発刊、記念式典、祝賀会の事業に向けて活動をしていきます。昨年9月、皆さんに五十周年記念事業の趣意書、事業計画書、寄付金依頼書を郵送しておりますので、記念事業の成功に向けてご協力をお願いします。設立総会で、会長には、岩淵義昭同窓会会長が就任しました。他同窓会関係の役員及び委員会の係は左記の通りです。

☆協賛会役員

- ・会長 岩淵 義昭 (4回生)
- ・副会長 住吉 治彦 (0回生)
- ・副会長 越後林寛之 (21回生)
- ・幹事 石塚 利孝 (3回生)
- ・幹事 柄本 俊一 (14回生)
- ・監事 小泉 輝美 (17回生)
- ・☆専門委員会 (1)財務委員会 委員長 岩淵 義昭 (4回生)
- ・副委員長 住吉 治彦 (0回生)

(2)記念事業委員会

- ・委員長 越後林寛之 (21回生)
- ・副委員長 柄本 俊一 (14回生)
- ・委員 小野 善一 (4回生)
- ・委員 住吉砂津貴 (6回生)
- ・委員 小幡 千裕 (15回生)
- ・委員 田中 洋 (19回生)
- ・委員 榎内有希子 (20回生)
- ・委員 西塚 務 (26回生)
- ・委員 森 幸見 (26回生)
- ・委員 畑 文子 (26回生)
- ・委員 越後喜代志 (27回生)

- ・委員 千葉 貴紀 (32回生)
- ・委員 住吉 治彦 (0回生)
- ・委員 千葉 三代 (19回生)
- ・委員 藤澤 諒 (35回生)
- ・委員 金田 真和 (36回生)

(3)記念誌委員会

- ・委員長 住吉 治彦 (0回生)
- ・委員 千葉 三代 (19回生)
- ・委員 藤澤 諒 (35回生)
- ・委員 金田 真和 (36回生)

(4)式典・祝賀会委員会

- ・委員長 住吉 治彦 (0回生)
- ・委員 千葉 三代 (19回生)
- ・委員 藤澤 諒 (35回生)
- ・委員 金田 真和 (36回生)

◎創立五十周年記念事業行事日程

- 令和7年10月4日(土) (1)記念式典 八戸公会堂
- (2)祝賀会 八戸プラザホテル アーバンホール (詳細は後日)



次期 関東支部長に 大久保 平氏 内定

昨年6月16日(日)の同窓会終了後、ホテルの近くの「文蔵」において、関東支部役員会を開催し、次回に向けての反省会と関東支部役員改選の件で岩淵会長同席のもと審議されました。

次回に向けての意見として、まず会場は、駅からも近く便利なので、今後もアルカディア市ヶ谷での開催が良い。また、50代、60代の皆さんから立食ではなく座席にして

ほしいと要望がありました。特に、もう少し多くの同窓生に参加してもらう創意工夫が必要、などの意見もあり、今後協議することになりました。

関東支部役員改選の件は、現、植村義昭関東支部長が仙台北に移住して辞任の意向がありましたので、協議の結果、現副支部長の大久保平氏(20回生)が昇格することを内定しました。正式には、令和7年3月15日定例総

会で選出されます。

関東支部役員(案)

(1)支部長 大久保 平 (20回生)

(2)副支部長 永田 美香 (11回生)

(3)常任支部幹事 濱谷 大樹 (25回生)

(4)事務局長 住吉砂津貴 (6回生)

(5)顧問 高森 敏 (4回生)

(6)相談役 高森 敏 (4回生)

第49回

同窓会in関東(46) 開催



第49回関東支部同窓会が、昨年6月16日(日) 13時半から、東京都千代田区アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催されました。約50名の来賓、教職員、同窓生とご家族が参加されました。司会には、慶応義塾大学大学院1年の吉田悠馬(常任幹事)が進行しました。

岩淵義昭同窓会会長の挨拶に始まり、2名ご来賓から祝辞をいただきました。初めに黒坂孝校長から、母校の近況報告と4月から高等学校通信制課程を開設したと報告がありました。次に、東京青森県人会柳田一弘会長より、東京在住の青森県出身の皆さんとコミュニケーションの重要性について、活動をしていくという紹介がありました。八戸市東京事務所の齋藤千聖主査より、本校の益々の発展を祈念して乾杯のご発声がありました。会は今年の卒業生を中心に楽しんでいただきましたが、中には20年ぶりの再会を懐かしく語る同窓生もおられました。

恒例の豪華景品ジャンケン大会では、ソニーワイヤレスイヤホン1セットは若い卒業生に当たり、最後は全員で校歌・二高賛歌を歌い、令和8年度第51回関東支部同窓会での再会を誓い合い、盛会のうちに終了しました。

お悔やみ

二代目同窓会会長 田中 泉様(1回生) ご冥福をお祈り致します。

二高教員インタビュー

～還暦を迎えた先生からのメッセージ～

令和6年4月、二高に通信制の課程が開設されました。

求める生徒は、計画的に学びに取り組む、まわりの人を尊重することができる、自立・安心・安全を心がける生徒です。

現在、1年次から3年次まで合わせて30人余り

が学んでいます。

学びの特色として、必修科目のほかに興味と関心に合わせて科目が選択でき、八戸工業大学の教員による教養科目も開講しています。

高の教室や体育館で学んでおり、中心街の番町サテライトキャンパスでは学習相談室を開設しています。

https://www.kodai2-h.ed.jp

今年度還暦を迎えられた細越利幸先生に、教員生活の思い出と同窓生へのメッセージをお伺いしました。



☆これまでの教員生活を振り返っての思い出をお聞かせください。

やはり、カナダ研修の引率ではないかと思えます。なぜ数字担当の私が英語研修の引率になったかというと、前の年の教員アンケートで趣味が特にない私は適当に、趣味「英会話」と書いてしまったことでした。引率

☆同窓会会員の皆さんに
メッセージをお願い致し
ます。

したときはいろいろな大変でしたが、これまでの人生の中で海外旅行の経験はその一回きりだということを考えれば、ありがたい経験をさせてもらったと今では思っています

卒業生の皆さん、お元
気ですか？青森県を離れ
頑張っている人も多いの
ではないかと思えます。
私事ですが、五年ほど
前、日ごろの不摂生と健
診結果を甘く見たため脳
梗塞で倒れてしまいまし
た。現在は毎日リハビリ
をして、職場復帰できろ
うになりました。みなさん
さんも健康に気を付けて
頑張ってくださいね。

令和6年度 青森県高校総体 入賞報告



令和6年5月31日から開催された「第77回青森県高等学校総合体育大会」において、多くの二高生が活躍した。上位入賞の部活動を紹介する。

【硬式テニス部】

大場祐悟さん 男子シングルス第2位・インターハイ出場、男子ダブルス第3位

番沢元陽さん 男子ダブルス第3位、男子シングルスベスト8入り

工藤帆稀さん 女子シングルス第2位・インターハイ出場

【女子サッカー部】

準優勝

青森県高校新人テニス選手権大会
男女シングルス優勝
全国大会へ

【陸上競技部】
清水健人さん 男子
やり投げ第6位・東北大
会出場

【卓球部】
木村瑠那さん 女子シ
ングルス第10位・東北大

会場
【女子バスケ部】
ベスト8入り
なお、大会ボスターには、本校美術コース2年楠明咲さんの作品（写真・左上）が採用された

令和6年9月14日、16日に、岩木山総合公園で二スコートにて行われた「青森県高校新人テニス選手権大会」において

さんは、福岡県で開催される「全国選抜高校テニス大会」の出場権を獲得した。

男女テニス部の生徒が男子団体で第3位を獲得。男子シングルスでは第1位が大場祐悟さん、第3位に番沢元陽さんが入賞した。男子ダブルスでは第2位に大場・番沢ペアが入賞した。女子シングルスでは、工藤帆稀さんが第1位を獲得。女子ダブルスでは、工藤帆稀・下平らんペアが第2位であった。大場さんと工藤



女子サッカー部
青森県高校
サッカー
新人大会 優勝

令和6年11月10日に、八戸市多賀多目的運動場人工芝球技場にて青森県高校サッカー新人大会が行われ、八戸工大二高校・八戸学院光星高校合同チームが優勝した。同チームは、東北高校新人女子サッカー選手権大会の出場権を獲得した。今後の活躍も期待したい。



活躍する先輩たち

おぼない旅館 女将 大建 (旧姓豊川) ももこさん (29回生)



★大建さんは二戸にお住まいで、旅館業を営んでおられますが、女将になる以前の活動について教えてください。

以前は、情報誌の取材、編集に携わる仕事や印刷関係の仕事をしており、ゼロから何かを表現したり、文章を書いたりすることに携わることが多かったです。

★女将として活動しようと思ったきっかけは何ですか？

結婚が大きな転機となりました。移り住むうちに、旅の一泊という短い時間をどうしたらもっと大切に過ごしてもらえうか、自分に出来ることは何かを考えるようになりました。今では常連様の満員御礼もあり、個々に対しておもてなしや昔話、表彰式など、同じ一泊のない「おもてなしの宿」となりました。コロナ以降は海外からのお客様

様も多く、世界中のみんなの2つ目の実家となるべく、みんなでよりいっそうコミュニケーションに磨きをかけ頑張っているところです。

★高校時代の思い出は？

美術コースでしたので、仲間と一緒に悩んだり、見習ったり、自分の壁を次から次へと乗り越えてチャレンジする日々が何よりも楽しくて、たくさんの色の「自分」を知ることができました。帰りのバス時間が過ぎるまで手をカラフルに染めながら夢中でキャンバスに筆を走らせていた時間が強く印象に残っています。様々な作品コンクールに応募するようになると、物事の意味や、由来どうあつてほしいのかなどを考えては、真っ白な紙の世界に向かってワクワク、ドキドキしていたのを覚えています。私の宝物です。

★今後の目標を聞かせてください。

学生時代からずっと変わらぬ「チャレンジし続けること」が目標です。未来を想うとワクワクする気持ちは変わっておりません。「ここまで」なんてエンドラインは誰にも決められませんから、今後も自分出来る旅館のおもてなしを日々追求しつつ、思いついたことを百面相のように取り入れ続けていきたいです。世界中のみんなの2つ目の実家のような宿を目指しています。デリーー東北さんにも月末金曜日にエッセイとイラストを連載させていただいておりますが、小さな宿で巻き起こっている小さな温かい日常のお話や絵本を作ることも近いうちの夢の一つです。

★今年度卒業する皆さんへメッセージをお願いします。

あつという間の3年間だったかと思えます。卒業後は、それぞれに自分の力だけで大小様々な壁を乗り越えて、歩んでいくのでしょうか。どの道にも、苦難も困難も必ず訪れます。しかしまた、どの道にも希望や喜びが必ず絶対に待っています。卒業したての頃、実際に私も様々な問題にまづいては嘆いたり、心が折れてしまいうることも多々ありました。ただそれは、時が過ぎればただの「石ころ」だったように今になってみれば感じられます。あなたの未来に、苦しい時が訪れたときには「大丈夫！」この三文字を思い出してください。たったこの三文字であなただけで自分自身を力強く鼓舞して、同時に優しく応援して励ましてほしいの



です。暗く落ち込んでいた時間なんて少しで十分です。あなたの時間を豊かで素晴らしい人生にすることは、今のあなたにしか出来ません。どうぞ、何度も試行錯誤を繰り返して、間違ったら直せばいい、ひらめいたら付け足して、他の誰でもないあなたを全力で楽しんでください。心から、心からエールを送ります！フレッツ！！フレッツ！！

★最後に同窓会の皆さんへ一言お願いします。

同窓会の皆様、同じ門をくぐって、過ごした同じ16歳から18歳だった皆様、日本中、いえ世界中で頑張っている方々やと思います。タイムマシンがあつたならぜひ同窓会のティーン時代の皆様で一同に会してみたいものです。何十歳になってもアクティブでハングリーでチャレンジしたいと思えるのは「二高」時代の影響が大きかったからではないかと思っております。先輩方先生方、本当にありがとうございます。もしも旅館に来ていただきましたら「二高の卒業生です」とお伝えください。たったそれだけでずっと高校時代にタイムスリップした笑顔になるはずですから。みなさんのご活躍とご健康を心から願っております。

座敷わらしの里 金田一温泉郷 南部藩時代より親しまれている岩手の名湯、侍湯で知られているおもてなしの宿

◎おぼない旅館 岩手県二戸市金田一 字湯田43-5 電話0195-2712221 金田一温泉駅より徒歩23分 無料駐車場30台まで

同窓会ホームページ
<http://www.kodai2-ob.com/>



登録
をお願いします。

八戸工業大学第二高等学校同窓会本部
同窓会担当 田中 洋
〒031-8505 八戸市大字妙字大開67番地
電話0178-25-4311 FAX0178-25-0568
Eメール p8@kodai2-h.ed.jp

令和6年度 主なトピックス

〔4月〕5日、第50回入学式を挙行。203名が新たな一歩を踏み出した。〔5月〕19日、館岸壁特設会場を発着点に行われた「第43回八戸うみねこマラソン全国大会」に、生徒56名、教職員4名が「3キロメートル着順なし」に出場した。当日は、今年最高気温を記録したが、体調を崩す生徒もなく、全員無事に完走することができた。二高創立50周年を記念し、来年も出場する予定。



31日より「第77回青森県高等学校総合体育大会」が開催され、テニス競技では、大場祐悟さんが男子シングルス第2位でインターハイ出場権獲得、工藤帆稀さんが女子シングルス第2位でインターハイ出場権を獲得した。サッカー競技では、女子が準優勝。陸上競技では、大清水健人さんが男子やり投げ第6位で東

北大大会出場権を獲得。卓球競技では、木村瑠那さんが女子シングルス第10位で東北大会出場権を獲得した。バスケットボール競技では、女子がベスト8入りした。また、美術コース楠明咲さんの作品が同大会ポスターコンクールにおいて最優秀賞に選ばれ、県高校総体開会式にて表彰された。〔詳細は3頁〕

〔6月〕14日、本校グラウンドにて体育祭を実施した。たくさんのご来賓・保護者の皆様に見守られる中、高校生・中学生ともに照りつける太陽にも負けず、学年の枠を超えて楽しく生徒会企画の競技に取り組んだ。今年度は激闘の末、桃軍が優勝に輝いた。

〔7月〕14日・15日、二高祭・附属中祭を実施した。各種ステージ発表や展示、文化部の発表ほか、模擬店やバンド演奏、名



物二高プロレスなどのイベントを行い、多くの来場者で大盛況だった。27日・28日に、東北大学大学院理学研究科附属浅田海洋生物教育センターにて臨海実習を行った。今年は中高合同で実施し、計21名が参加。2日とも雨天のため屋外での実習は中止となったが、ウニやナマコの発生、ホタテの解剖、プランクトンの観察など、実際に観察・考察することで、多くの学びを得ることができた。

30日・31日に、東北大学のオープンキャンパスに参加。また、東北学院大学・東北福祉大学・東北文化学園大学を見学、模擬講義を受講した。また、河合塾仙台校にも訪問させていただき、大学入試に向けての進学講演会を聴講した。

〔8月〕1日・2日、番町サテライトキャンパス「ばんらぼ」にて、八戸三社大祭の観光PR活動の一環として、生徒40名が観光ボランティア活動に取り組んだ。昨年度に引き続き、今年も日本語・英語の観光案内プレゼンテーションや三社大祭観光記念キーホルダーの作成のほか、今年は虎舞いや獅子舞、山車をモチーフとしたペーパークラフトの作成を行った。地元の方のみならず、国内外から観光にいらした

方々にも来場いただいた。同日、八戸工業大学が主催するサマーサイエンスプログラムに参加。1年生の一貫コースおよび進学コース、2年生の総合進学クラス理系の生徒計80名が、八戸工業大学の各学部・コースの講義を受講し、その成果を発表した。

〔9月〕14日・16日に、岩木山総合公園テニスコートにて行われた「県下高校新人テニス選手権大会」において、男女テニス部の生徒が各種目に入賞。〔詳細は3頁〕

〔10月〕20日に、館花岸壁朝市にて開催された「全国朝市サミット」にて、鮫・蕨島観光ボランティアガイドの有志6名が、観光マップの配布と観光ガイドを行い、たくさんの方から来場者の方にお受け取りいただいた。

26日・27日に、八戸市で開催された「日本まちあるきフォーラム」にて、鮫・蕨島観光ボランティアガイドの生徒13名が、



八戸市の観光案内を行った。26日は、八戸ポータルミュージアムはつちにて、まちあるきフォーラムに参加して日本各地でのまちあるきの事例やガイドに関するお話を傾聴したほか、二高観光ガイドの活動内容紹介を行った。27日は、館花岸壁朝市での観光マップ配布および観光ラップを披露し、その後まちあるきフォーラム参加者の方に葦毛崎・白浜海岸・種差海岸の3か所での観光ガイドを行った。

30日に、高校1年生が、青森県が主催する「先輩から後輩への夢想伝講座」を受講した。講義では、青森県警察さま、青森地方検察庁八戸支部さま、八戸海上保安部さま、財務省函館税関八戸税関支署さま、デリーー東北新聞社/東北のデザイン社さま、株式会社ヴァンラーレ八戸さま、医療法人弘仁会於本院院さま、株式会社よこまち・よこまちストアさまにご協力いただき、青森県内で活躍している方々から、職業選択において重視すべきことや、仕事をする意義についてお話いただいた。

〔11月〕第45回青森県高等学校総合文化祭美術部門において、美術コース2年生竹ヶ原圭太さんが最優秀賞を受賞。そのほか「優良賞」(全国大会

出品)に大久保龍真さん、「優良賞」に坪川理紗さん、「奨励賞」に舩沢みひろさんが選ばれた。

〔12月〕13日、東北地方環境事務所環境対策課の金鋼一氏をお招きし、「気候変動について考えるグループワーク・気候変動のミステリー」を開催した。附属中生と高校生合わせて23名が参加し、人間の生活や社会問題と気候変動の関係について考察した。

21日、「ESDユネスコスクール・東北コンソーシアム」において、2年生の樋口雄飛さんと古里みるさんのプレゼンテーションが優秀賞(第2位)を受賞した。

〔1月〕17日、1年生全クラスを対象に奥中山高原スキー場にてスキー教室を実施した。

31日・2月2日、美術コース作品展が八戸市美術館にて行われ、千三百人を超える来場者にご覧いただいた。

―他多数の活動を実施。―



令和7年度新幹事決定

- 〔八戸地区幹事〕
- 1組 中野 昊汰
 - 2組 奥村 海彩
 - 3組 畑中 美玖
 - 4組 大谷地叶援
 - 5組 木村 瑠那
 - 6組 小笠原杏華
 - 7組 関野いろは
 - 8組 中居 有悟
 - 9組 工藤 春奈
 - 10組 清水 悠斗
 - 11組 赤坂 莉亜
 - 12組 新山馨乃咲
 - 13組 安ヶ平雪衣

- 〔関東地区幹事〕
- 1組 高橋 凜子
 - 2組 石橋 咲佳
 - 3組 相畑 陽人
 - 4組 中野 桜甫
 - 5組 小向 健矢
 - 6組 木谷 歩夢
 - 7組 高松 拓士
 - 8組 高橋 里佳
 - 9組 小林 歩
 - 10組 竹内咲太郎
 - 11組 新堂 月愛
 - 12組 前田 楓月

―他多数の活動を実施。―

第50回同窓会 記念演奏会

David Matthews 八戸トリオ&オペラとのコラボ

今春卒業・昨年卒業生(49・50回生)

会費無料



第50回同窓会記念として、デビッド・マシューズ八戸トリオとオペラで活躍している山内政幸氏とのコラボで楽しんでもらいたいと思います。

デビッド・マシューズ氏は、グラミー賞3度受賞の伝説のピアニスト、アレンジャーです。現在八戸に在住しており、本場ニューヨークのジャズを八戸市内のミュージシャンにセッションで教えています。八戸トリオのドラムは、紅白歌合戦でのバックバンドで演奏していた相馬登氏、ベースは、久保沢清吾氏(2回生)で八戸ジャズ楽団の代表でもあります。そして、トリオとコラボするのは、オペラで活躍している山内政幸氏(18回生)で司会と歌を披露します。50周年記念として皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

◎日程

令和7年8月11日(月)

(1)第24期光彩会総会

15時~15時半

(2)記念演奏会

16時半~17時半

(3)納涼パーティー

18時~20時半

会費 同窓生二千円

(ご家族、49・50回生 無料)

ご来賓六千円

参加希望者は、指定席

になりますので事前申込

が必要です。

◎会場

八戸パークホテル

八戸市吹上

一丁目15-90

電話 0178-431111

43-1111

◎申込締切日

令和7年7月25日(金)

必着で参加希望者は、二

次元コードで申込できま

す。

第50回同窓会
記念演奏会 申込み
二次元コード藤原歌劇団
日本オペラ協会こちらの
二次元コードを
ご覧ください。第50回
ハ工大二高
同窓会納涼パーティー

日時 8月11日(月) PM6:00~

会場 八戸パークホテル

会費 ¥2,000

(同伴の方及びご家族は無料です)

詳しくは、同窓会事務局長住吉まで
携帯 090-5846-7145 FAX 0178-46-1571

豪華景品が当たる!

八戸工業大学第二高等学校同窓会

「二高だからこそ」

小川 暁

二高で過ごした三年間で得た様々な経験により、私自身大きく成長することができた。

バスケットボール部のマネージャーとして選手をサポートし、ボランティア活動では、子ども食堂などの地域活動に参加した。以前から「誰かの役に立ちたい」という想いがあり、それを実現することができた。また、「もっと広い世界を知りたい」という私の願いを叶えるため、英語検定の取得に励み、オーストラリアでの異文化体験に参加した。

二高では、勉強だけでなく部活動、学外学習、ボランティア活動にも力を入れている。私の想いや願いは、高校生活を二高で過ごせたからこそ実現できたと言える。さらに、研修中にインフルエンザに罹った時や、大学受験で四苦八苦した時などは、先生方からの励ましや大きな支えがあったからこそ乗り越えることができた。

卒業生からの声

「充実した3年間」

中村 奏良

私は、二高に入学してから様々なことに挑戦してきた。その中でも、私を大きく成長させてくれたのは、クライミングの活動と科学愛好会でのマイクロプラスチックの研究であった。

小学校の頃からスポーツクライミングを行っていた私は、高校入学後も様々な場所に遠征して、大会に出場した。大会の結果は良かったとは言えなかったが、クライミングを通して、諦めない忍耐力と怖くても一歩を踏み出す勇気を身につけることができた。

マイクログラスチックの研究においては、物事を継続することの大切さを学び、発表することの楽しさを感じることができた。また、海洋環境問題を深く理解することにつながった。昨年は、高分子学会年次大会に参加して、ポスター発表をさせていた。多くの体験の中でも、この発表が高校での一番の思い出となった。

最後に、充実した3年間の活動をサポートしてくれた両親と、温かく支えてくださった先生方、本当にありがとうございます。